

件 名

埼玉県公立学校教員採用選考試験の実施計画の概要について

提出理由

令和 7 年度に実施する埼玉県公立学校教員採用選考試験の実施計画の概要について、別紙のとおり報告します。

概 要

- 1 選考試験の対象となる志願区分、採用見込数、試験期日等
 - (1) 志願区分・教科等
 - (2) 採用見込数
 - (3) 試験期日・試験会場
 - (4) 選考区分・志願区分
 - (5) 第 1 次試験及び第 2 次試験の内容
 - (6) 特定の資格・実績等による加点
 - (7) その他

2 主な変更点

- (1) 大学3年生チャレンジ選考通過者特別選考の新設
- (2) 加点要件の追加

3 その他

1 選考試験の対象となる志願区分、採用見込数、試験期日等

(1) 志願区分・教科等

志願区分	教 科 等
小 学 校 等 教 員	—
中 学 校 等 教 員	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
高 等 学 校 等 教 員	国語、地理歴史、公民、数学、理科、保健体育、音楽、美術工芸、書道、英語、農業、電気、機械、デザイン、商業、看護、家庭、情報
特別支援学校教員	特別支援教育、自立活動
養 護 教 員	—
栄 養 教 員	—

※ 「小学校等教員」、「中学校等教員」、「高等学校等教員」の志願区分については、特別支援学校に配置する場合がある。

※ 「栄養教員」の志願区分については、小・中学校に配置する。

(2) 採用見込数

	令和 7 年度実施	(令和 6 年度実施)
ア 小学校等教員	7 0 0 名	(7 0 0 名)
イ 中学校等教員	4 5 0 名	(4 5 0 名)
ウ 高等学校等教員	2 5 0 名	(3 0 0 名)
エ 特別支援学校教員	2 0 0 名	(2 0 0 名)
オ 養護教員	3 5 名	(3 5 名)
カ 栄養教員	5 名	(5 名)
合 計	1, 6 4 0 名	(1, 6 9 0 名)

(3) 試験期日・試験会場

各志願区分に応じ、それぞれ次のとおりとする。

ア 小学校等教員、中学校等教員、養護教員、栄養教員

試験区分	試験期日	会場
第 1 次試験	令和 7 年 7 月 6 日（日）	県内大学、県立学校、市立学校、 県立総合教育センター
第 2 次試験	令和 7 年 8 月 9 日（土） 令和 7 年 8 月 1 7 日（日） 令和 7 年 8 月 3 1 日（日）	県内大学、県立学校、 県立総合教育センター

イ 高等学校等教員、特別支援学校教員

試験区分	試験期日	会場
第 1 次試験	令和 7 年 7 月 6 日（日）	県立学校
第 2 次試験	令和 7 年 8 月 3 日（日） 令和 7 年 8 月 1 7 日（月） 令和 7 年 8 月 1 8 日（月）～ 2 1 日（木） のうち指定する 1 日	県内大学、県立学校

ウ 大学3年生チャレンジ選考

試験期日	会場
令和7年7月6日（日）	県内大学

- ※ 大学3年生等を対象に、令和8年度に実施する選考試験のうち、第1次試験の筆答試験の一部を令和7年度に前倒しして受験できる選考試験
- ※ 試験種目は、筆答試験（一般教養・教職科目）。出願に際して、志願区分（校種・職種）や教科（科目）等を指定する必要はない。

(4) 選考区分・志願区分

次の表に掲げる一般選考及び特別選考を実施する。

選考区分			志願区分					
			小学校 等教員	中学校 等教員	高等学校 等教員	特別支援 学校教員	養護 教員	栄養 教員
一般選考			○	○	○	○	○	○
特 別 選 考	障害者特別選考		○	○	○	○	○	○
	教職経験者 特別選考	本採用教員 経験者特別選考	○	○	○	○	○	○
		臨時的任用教員 経験者特別選考	○	○	○	○	○	○
	セカンドキャリア特別選考		○	○	○	○	○	○
	看護師等経験者特別選考				○ (看護)	○ (自立活動)		
	大学推薦特別選考		○	○ (美術) (技術) (家庭)	○ (数学) (理科)	○ (特別支援 教育)		
	(教職大学院)		○	○	○	○	○	○
	彩の国かがやき教師塾特別選考		○	○				
	(新) 大学3年生チャレンジ選考 通過者特別選考		○	○	○	○	○	○

(5) 第 1 次試験及び第 2 次試験の内容

	選考区分	小学校等教員 中学校等教員 養護教員 栄養教員	高等学校等教員 特別支援学校教員
第 1 次 試 験	一般選考	- 筆答試験（一般教養・教職科目） - 筆答試験（専門分野）	- 筆答試験（一般教養・教職科目） - 筆答試験（専門分野）
	臨時的任用教員経験者特別選考 A 選考	- 筆答試験（専門分野） - 集団面接	- 筆答試験（専門分野） - 集団面接
	セカンドキャリア特別選考		
	（新）大学 3 年生チャレンジ選考 通過者特別選考	筆答試験（専門分野）	筆答試験（専門分野）
	障害者特別選考	第 1 次試験免除	
	本採用教員経験者特別選考		
	臨時的任用教員経験者特別選考 B 選考		
	看護師等経験者特別選考		
	大学推薦特別選考		
	彩の国かがやき教師塾特別選考		

	選考区分	小学校等教員 中学校等教員 養護教員 栄養教員	高等学校等教員 特別支援学校教員
第2次試験	全選考区分	・論文試験 ・個人面接 ・集団討論 ・適性検査 ・実技試験＊ ＊志願区分「中学校等教員」のうち理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語のみ	・論文試験 ・個人面接 ・集団討論 ・集団面接 ・適性検査 ・実技試験＊ ＊志願区分「高等学校等教員」のうち保健体育、音楽、美術工芸、書道、英語のみ

(6) 特定の資格・実績等による加点

次の表に掲げる各志願区分に応じ、加点要件を満たした者は、それぞれ第1次試験等の得点に同表のとおり加点する。

種 別	志願区分 (教科)	加点要件	加点する 点数
国際貢献 活動	全区分	青年海外協力隊員、海外協力隊員、日系社会青年海外協力隊員、 日系社会海外協力隊員、又は日系社会青年ボランティアとして、 出願時までに24か月以上の海外での国際貢献活動経験を 有する者	10点
英 語 に 関 す る 資 格 ・ 実績	小	英語の中学校教諭普通免許状又は高等学校教諭普通免許状を 有する者（取得見込みは不可）	10点
		英語指導助手として24か月以上の実務経験を有する者	10点
	小 中(英語) 高(英語)	・ 実用英語技能検定1級又は準1級合格者 ・ TOEIC Listening & Reading Test 785点以上取得者 ほか	10点

種 別	志願区分 (教科)	加 点 要 件	加 点 す る 点 数
調 理 師 に 関 する 資 格	高 (家庭)	専門調理師又は調理師の資格を有する者	1 0 点
手 話 通 訳 士 に 関 す る 資 格	全区分	手話通訳士として登録された者	1 0 点
情 報 処 理 技 術 に 関 する 資 格	高 (情報、 情報技術) を除く 全区分	基本情報技術者試験に合格した者	5 点
	全区分	応用情報技術者試験に合格した者	1 0 点
司 書 教 諭 に 関 す る 資 格	小 中	司書教諭講習修了証書を有する者	5 点

種 別	志願区分 (教科)	加 点 要 件	加 点 す る 点 数
(新) 日本 語 指 導 に 関 する 資 格	全 区 分	登録日本語教員の資格を有する者	1 0 点
		公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格した者	5 点
(新) 彩の 国かがやき 教師塾ベー シックコー ス修了者	大 3 チャ レンジ 小 中 特	彩の国かがやき教師塾ベーシックコース修了者	5 点

種 別	志願区分 (教科)	加 点 要 件	加 点 す る 点 数
志願区分・ 教科(科目) 等以外の 教員免許状 の所有	小 中	特別支援学校教諭普通免許状を有し(取得見込みは不可)、 かつ、特別支援教育担当教員を希望する者	10点
	中	音楽、美術、技術、家庭のいずれかの中学校教諭普通免許 状を有する者(取得見込みは不可)	10点
	高(国語)	中国語の高等学校教諭普通免許状を有する者(取得見込み は不可)	10点
	高(地理 歴史)	公民又は社会の高等学校教諭普通免許状を有する者(取得 見込みは不可)	10点
	高(公民)	地理歴史又は社会の高等学校教諭普通免許状を有する者 (取得見込みは不可)	10点
	高(英語)	ドイツ語、フランス語、中国語のいずれかの高等学校教諭 普通免許状を有する者(取得見込みは不可)	10点
	高	情報の高等学校教諭普通免許状を有する者(取得見込みは 不可)	10点

(7) その他

ア 試験要項の公開

令和 7 年 3 月中旬（予定）

イ 出願期間

令和 7 年 4 月 3 日（木） 10 時～5 月 8 日（木） 17 時

※ 全ての志願区分において、インターネット出願のみとする。

ウ 結果の公表

(ア) 第 1 次試験

- ・ 令和 7 年 7 月 25 日（金）に第 1 次試験受験者全員に通知する。
- ・ あわせて、同日、埼玉県教育委員会ホームページ上に合格者の受験番号を掲載する。

(イ) 第 2 次試験

- ・ 令和 7 年 9 月下旬に第 2 次試験受験者全員に通知する。
- ・ あわせて、同日、埼玉県教育委員会ホームページ上に合格者の受験番号を掲載する。

2 主な変更点

(1) 大学3年生チャレンジ選考通過者特別選考の新設

令和6年度から新たに実施した大学3年生チャレンジ選考の選考通過者を対象とした特別選考を実施する。第1次試験の受験種目は「専門分野」のみとする。

(2) 加点要件の追加

ア 登録日本語教員の資格を有する者を加点の対象とする（10点）。

イ 公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する日本語教育能力検定試験に合格した者を加点の対象とする（5点）。

ウ 彩の国かがやき教師塾ベーシックコースを修了した者を加点の対象とする（5点）。

3 その他

県と川越市との教員採用に関する覚書に基づき、高等学校等教員の合格者のうち、一部の合格者を必要に応じて川越市教育委員会が採用し、川越市立川越高等学校に配置する。

※ このほか、令和2年度に川口市とも同様の覚書を締結しており、一部の合格者については必要に応じて川口市教育委員会が採用し、川口市立高等学校

（全日制）に配置する。